

平成28(2016)年

7月1日

第182号 毎月発行

編集: 公民館だより編集室
発行: 西東京市公民館

毎月第4月曜日は休館日です

西東京市

公民館だより

今月号の内容

2面…夏休み子ども向け講座、美術講座、
谷戸の自然と歴史・文化を学ぶ講座 I
3面…第11回人形劇フェスタin西東京、
若者の生き方を考える講座 I、
0歳からのコンサート

柳沢公民館 柳沢1-15-1 ☎042-464-8211 kouminkan@city.nishitokyo.lg.jp
田無公民館 南町5-6-11 ☎042-461-1170 tana-kou@city.nishitokyo.lg.jp
芝久保公民館 芝久保町5-4-48 ☎042-461-9825 shiba-kou@city.nishitokyo.lg.jp

谷戸公民館 谷戸町1-17-2 ☎042-421-3855 yato-kou@city.nishitokyo.lg.jp
ひばりが丘公民館 ひばりが丘2-3-4 ☎042-424-3011 hibari-kou@city.nishitokyo.lg.jp
保谷駅前公民館 東町3-14-30 ☎042-421-1125 ekimae-kou@city.nishitokyo.lg.jp



夏休み自由研究

親子で自然観察



夏休みの自由研究を何にするか決まりましたか?今回は市内の身近なところで行える自然観察をご紹介します。水筒を持ってぼうしをかぶり、野外に出かけてみましょう。

夏休みは、この時季に咲く花や昆虫などの観察のベストシーズンです。写真を撮ったり、名前を調べたりすることは、自然を知るうえで楽しいですが、観察の視点を変えてはいかがでしょうか。セミの羽化や、つる性植物のよじ登るための工夫など、不思議で神秘的なことにいっぱい気づきますよ。



たくお 大森拓郎さん
日本自然保護協会
自然観察指導員

セミの羽化観察

1. 近所の公園を見てまわり、セミの抜け殻が付いている木を見つけましょう。
注意 観察するほかのお友だちのために、抜け殻を持ち帰らないでくださいね。



2. 日が暮れて暗くなったら観察スタート。懐中電灯とカメラを持って、昼間見つけた抜け殻が付いていた木の付近の地面を捜しましょう。穴からセミが出て来るところを見られるかも。



3. 穴から出てきたセミの幼虫は木によじ登り、気に入った場所を見つけると、いよいよ羽化が始まります。触ったりせず、静かに観察しましょう。



4. 羽化のピークは夜8時ごろから9時ごろまでの1時間ほどです。羽化したセミは明け方になると飛んでいきます。

必ず大人と一緒に観察してください。虫除けの用意も忘れずに。雨が降っているとセミは羽化しません。アブラゼミが羽化する時期は、7月下旬から8月中旬ごろまでです。

羽化撮影:西東京いこいの森公園にて

つる性植物観察

木や柵、壁などに取り付いてぐんぐん成長するつる性植物。種類によってよじ登り方に違いがあることを調べてみましょう。つる性植物はここで紹介したほかにもいろいろありますよ。

キュウリや
カボチャも
つる性植物
だよ

巻きつき型

右巻き(右肩進み)



ヒルガオ

左巻き(左肩進み)

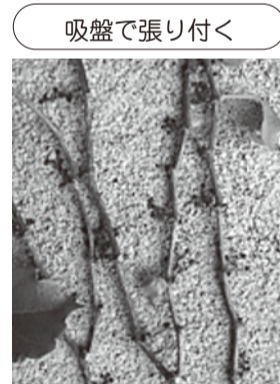


フジ

巻きひげ型



ようべい
葉柄が絡みつく



吸盤で張り付く



ニガウリ(ゴーヤ)



きこん
気根で張り付く

センニンソウ

ツタ

アイビー(セイヨウキヅタ)



田無町の駅前・昭和30(1955)年4月撮影
西東京市中央図書館地域・行政資料室所蔵



現在のひばりが丘駅南口

写真で見る いまむかし
田無町駅(現ひばりが丘駅)
西武鉄道の前身である武蔵野鉄道は明治45(1912)年に設立され、3年後の大正4(1915)年に池袋〜飯能間を開業しました。現在のひばりが丘駅は、大正13(1924)年に「田無町駅」として開業。昭和34(1959)年に改名しました。

「自分の足で集めない」と良い情報が得られない」が本人のモットーで、自ら取材したり、行事に参加したり、体当たりの活動をしてきました。



時には苦手と思う場にも出向き、相手に嫌がられながらも通い続け、何とか認めてもらうこと

「自分の足で集めない」と良い情報が得られない」が本人のモットーで、自ら取材したり、行事に参加したり、体当たりの活動をしてきました。

時には苦手と思う場にも出向き、相手に嫌がられながらも通い続け、何とか認めてもらうこと

わが街をもっと知りたくて コミュニティラジオの スペシャリスト 有賀達郎さん



コミュニティラジオFM西東京は西東京市の地元情報局です。神社のまつり、商店街のイベント、市民のまつり、公民館事業や市民活動など、あらゆる分野の情報を集め、それをもとに番組を作っています。

有賀達郎さんは、このFM西東京の設立準備からかわり、今年3月に退職するまでの19年間、局の発展に力を尽くしました。

「自分の足で集めない」と良い情報が得られない」が本人のモットーで、自ら取材したり、行事に参加したり、体当たりの活動をしてきました。